

取扱説明書

はじめに

このたびはフォナック社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

フォナック クロスは Spice (スパイス) シリーズ補聴器と一緒に使用する CROS システム送信機です。

ご利用の前に本取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。お読みになったあとは大切に保管し、必要なときにお読みください。

安全上のご注意 (必ずお守りください)

	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重症を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重症を負う可能性が想定される」内容です。
	この表示は、取り扱いを誤った場合、「損傷を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>フォナック クロスはあらかじめ調整されたフォナック製 CROS システム対応補聴器と共にご使用ください。</li> <li>分解、改造をしないでください。</li> </ul>
--	---

	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペットのそばや子どもの手の届くところに保管しないでください。万が一、誤って電池を飲み込んでしまった場合、ただちに医師にご相談ください。</li> <li>耳に痛みを感じたり腫れや炎症が起こった時、また耳垢が急に増えたりしたときは使用を中止し耳鼻咽喉科医または販売店にご相談ください。</li> <li>指向性マイクロホンにより後方からの音が聞こえにくくなる場合がありますのでご注意ください。</li> <li>弊社によって動作確認されたアクセサリのみを使用してください。</li> </ul>
--	---

	<p><b>注意</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>強い衝撃を与えたり落としたりしないようにしてください。</li> <li>過度の湿気や温度を避けてください。特に夏の時期、窓や車のフロントガラスの近くには置かないようにしてください。</li> <li>使用しないときは電池ケースを開き電源を切ってください。また使用後は乾燥ケースなどに保管してください。</li> <li>精密機器につき非常にデリケートなので落とさないでください。</li> <li>電池交換の際は必ず新しい電池と交換してください。</li> <li>長期間使用しないときは必ず電池ホルダーから電池を抜いてください。</li> <li>レントゲン撮影、CT スキャン等の画像診断機器はフォナック クロスに悪影響を及ぼします。これらの機器を用いた撮影を受ける前にはフォナック クロスおよび補聴器を耳から外し、撮影室の外に置くことをお勧めします。また MRI スキャンは強い磁力を用いますので、MRI 室に入る前には必ず外してください。</li> <li>飛行機の機内など、電子機器類の使用が制限されている場所では使用しないでください。</li> <li>誤って耳から外れてしまった場合などフォナック クロスとの接続が切断された場合は、そのことが補聴器からメロディで提示されますのでご確認ください。</li> </ul> <p><b>フォナック クロス H20</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>内部に水が入ると故障する恐れがありますので、強い水流を当てたり、水中に沈めたりしないでください。</li> </ul> <p><b>フォナック クロス H20 以外</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>水にひたさないでください。シャワー、お風呂や水泳の前には常に補聴器およびフォナック クロスを外してください。</li> </ul>
--	---

その他の注意事項

フォナック クロスを使用する際は通常よりも多くの電流を必要とします。そのため、カタログなどに記載されている補聴器の電池寿命の時間より短くなりますが、補聴器の故障ではありませんのであらかじめご了承ください。

1. 本体付属品

- フォナック クロス本体
- 電池 (PR41 または PR48)
- 取扱説明書 (本書)
- 保証書
- 乾燥ケース

2. フォナック クロス 器種一覧

耳かけ型	耳あな型
フォナック クロス	フォナック クロス 312
フォナック クロス H20	フォナック クロス 13

3. 各部の名称

フォナック クロス 耳かけ型 +クロススリムチューブ

	<ol style="list-style-type: none"> <li>クロススリムチューブ</li> <li>電池ホルダー (電源の入/切機能付)</li> <li>プログラムスイッチ</li> <li>マイクロホン音口 (マイクカバー付)</li> </ol>
--	---

フォナック クロス 耳かけ型 +クロスチップ

	<ol style="list-style-type: none"> <li>クロスチップ</li> <li>電池ホルダー (電源の入/切機能付)</li> <li>プログラムスイッチ</li> <li>マイクロホン音口 (マイクカバー付)</li> <li>取り出しテグス</li> </ol>
--	--

フォナック クロス 耳あな型

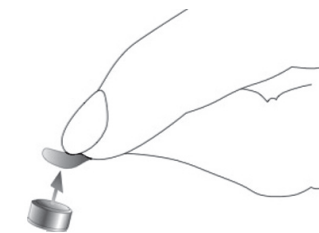
	<ol style="list-style-type: none"> <li>オーダーメイドシェル</li> <li>電池ホルダー (電源の入/切機能付)</li> <li>マイクロホンの音口</li> <li>プログラムスイッチ</li> <li>ベント</li> </ol>
--	---

4. 補聴器対応器種

通信機能を有する Spice シリーズ補聴器

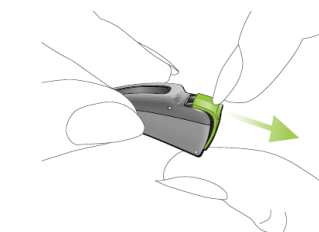
5. 電池の準備・電池の出し入れ

電池の準備



新しい電池の保護シールをはがします。シールが貼ってある側が (+) 面です。

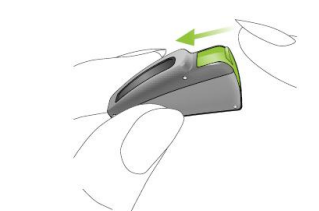
フォナック クロス 耳かけ型



1. 電池ホルダーを開け、使用済みの電池を取り出します。電池ホルダーを開けることで電源が切れます。



2. 新しい電池を入れます。電池の (+) 面が図の方向になるように入れます。

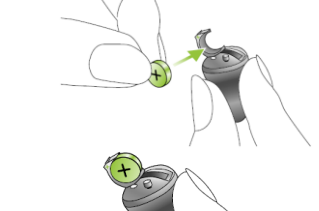


3. カチッと閉まるまで、電池ホルダーをゆっくり押し込みます。電池ホルダーを閉めることで電源が入ります。

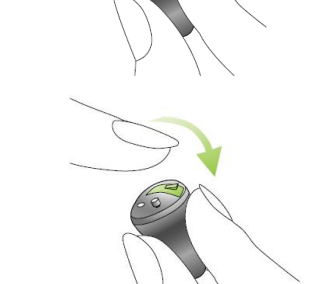
フォナック クロス 耳あな型



1. 電池ホルダーを開け、使用済みの電池を取り出します。電池ホルダーを開けることで電源が切れます。



2. 新しい電池を入れます。電池の (+) 面が図の方向になるように入れます。



3. カチッと閉まるまで、電池ホルダーをゆっくり押し込みます。電池ホルダーを閉めることで電源が入ります。

## 注意点：

- 電池ホルダーは丁寧に扱い、無理な力を加えないでください。
- 電池ホルダーがうまく閉まらない場合には、電池が正しく収納されているか確認してください。電池がプラスマイナス逆向きに収納されている場合、きちんと閉まりません。無理に閉じると故障の原因となります。
- フォナック クロスを使用しない場合は、電池ホルダーを開けたまま保管してください。
- フォナック クロスの電池寿命は以下の通りです。

フォナック クロス	フォナック クロス H20
フォナック クロス 312	フォナック クロス 13
使用電池：PR41	使用電池：PR48
電池寿命：25～35 時間	電池寿命：42～52 時間

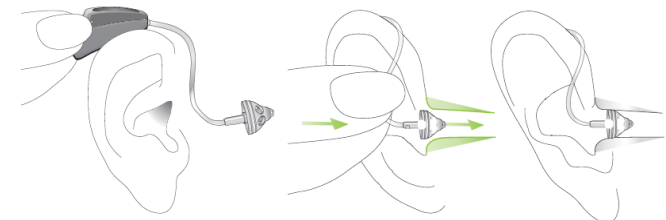
## 6. フォナック クロスの装着

- ※ フォナック クロスには左耳用 / 右耳用がありますので装着の前にご確認ください。

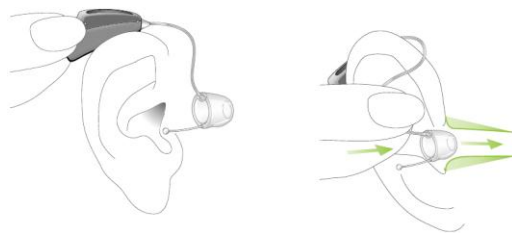


(左耳用：青色 右耳用：赤色)

### フォナック クロス 耳かけ型

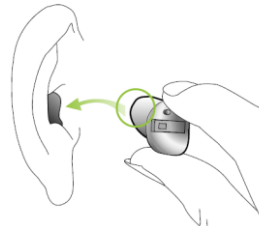


耳の上部にフォナック クロスを乗せ、クロススリムチューブをつまんで図のように持ち、外耳道に耳せんをゆっくり押し込みます。



クロスチップの場合はチューブ部分をつまんで、クロスチップを耳の穴に近づけゆっくり押し込みます。

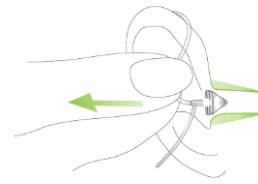
### フォナック クロス 耳あな型



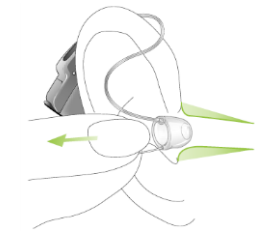
フォナック クロスを図のように持ち、耳穴の後ろの耳介部分を軽く後ろに引きながらゆっくり入れます。入りにくい場合は、販売店にご相談ください。

## 7. フォナック クロスの取り外し方法

### フォナック クロス 耳かけ型



クロススリムチューブをつまんでゆっくり耳から外してください。

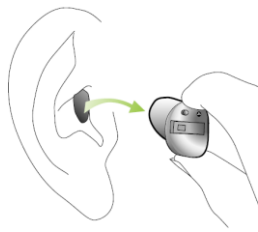


クロスチップの場合は取り出しテグスをつまんでゆっくり取り出してください。

### フォナック クロス 耳あな型



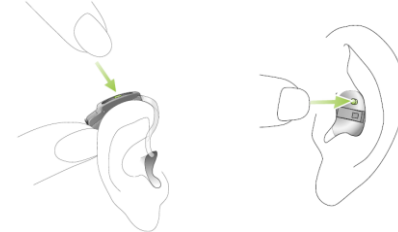
耳たぶを図のように持ち、耳たぶの後ろから親指で補聴器を押し上げます。



少し出たら、補聴器をつかんでゆっくり取り出します。テグス付の場合はテグスを持ってゆっくり取り出します。

## 8. 音量調節とプログラム切り換え

補聴器にあらかじめマニュアルプログラムを設定している場合、クイックシンク機能でフォナック クロスのプログラムスイッチでも補聴器のプログラムを切り替える事ができます。



また、一部の器種\*は設定により、プログラムスイッチにボリューム調節機能を割り当てることも可能です。これにより左右のプログラムスイッチで音量調節が可能になります。詳しくは補聴器の取扱説明書をご覧ください。

\*独立したボリュームコントロールがなく、かつプログラムスイッチを装備する器種。詳しくは販売店にお尋ね下さい。

## 9. トラブルシューティング

### 音が小さい・または出ない

- ボリュームを調節してください。

- 電池が正しく入っているか確認してください。
- 電池の残量があるか確認してください。
- 正しく耳に装着されているか確認してください。
- 補聴器の耳垢ガードを交換してください。  
(耳あな型および CRT タイプの場合)

### 電池がすぐに切れる

- 使用期限の経過した電池を使用していないか確認してください。

### ハウリングが起こる

- 補聴器が正しくしっかりと装着されているか確認してください。

※ 上記のとおり行っても症状が改善しない場合や、その他の症状が発生した場合は、販売店にご相談ください。

## 10. FM システムとワイヤレスアクセサリー

フォナック クロスはダイナミック FM システムおよびデジタルワイヤレスアクセサリーと併用することができます。ただし、リモコンを除くこれらのアクセサリと CROS システムは同時に使用することはできません。詳しくは販売店にご相談ください。

## 11. フォナック クロス H20 防塵・防水機能に関する情報と注意

フォナック クロス H20 は防塵・防水機能 IP67 を備えています。この機能を維持するため、以下の注意点をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

### 一般的な注意点

ヘアスプレーやその他の化粧品を使用する場合、補聴器のききとりに影響が発生する可能性がありますので、耳から取り外した後にヘアスプレー等をご使用ください。

### フォナック クロス H20 使用上における注意

- フォナック クロス H20 は電池ホルダーが完全に閉じた状態でのみ防塵・防水機能 IP67 を担保します。髪等が挟まれないように電池ホルダーを完全に閉じてご使用ください。
- 汗や埃が多くついてしまった場合は、きれいな水で洗い流し自然乾燥させてください。(このときドライヤーは使用しないでください)
- 日頃のケアや定期的な点検に関しては、以下をご参照ください。
  - スキューバダイビング、潜水、水上スキーやその他の水上でのアクティビティをされる前にはフォナック クロス H20 を取り外してください。
  - フォナック クロス H20 に水が付着することで電池への空気供給が制限されて一時的に動作が

止まることがあります。その場合は、柔らかい布もしくはティッシュで水分を拭き取り、濡れていないことを確認してから、電池ホルダーを開けて空気を供給してください。

- 防塵・防水機能を維持するために、一年に一度はお求めの販売店を通じてマイクカバー交換と点検をご依頼ください。

## 12. 保証期間とアフターサービス

- 不具合がある場合は修理いたします。
- 本製品の無償保証期間はご購入日より一年間です。
- 無償保証期間が過ぎて不具合がある場合、有償修理となります。
- 保証期間内であっても、お客様による誤った使用、過失、改造による故障の場合、有償修理となる場合があります。
- 製品に同梱されている保証書に「販売店名」「ご購入日」などが記載されていることを確認し、大切に保管してください。
- 修理を依頼する際、お求めの販売店にご連絡ください。修理の際には保証書が必要となります。
- 本製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

### 販売店

製造販売業

フォナック・ジャパン株式会社

〒141-0031

東京都品川区西五反田 5-2-4

レキシントン・プラザ西五反田

TEL 0120-06-4079 (お客様相談窓口)

FAX 0120-23-4080

www.phonak.jp

